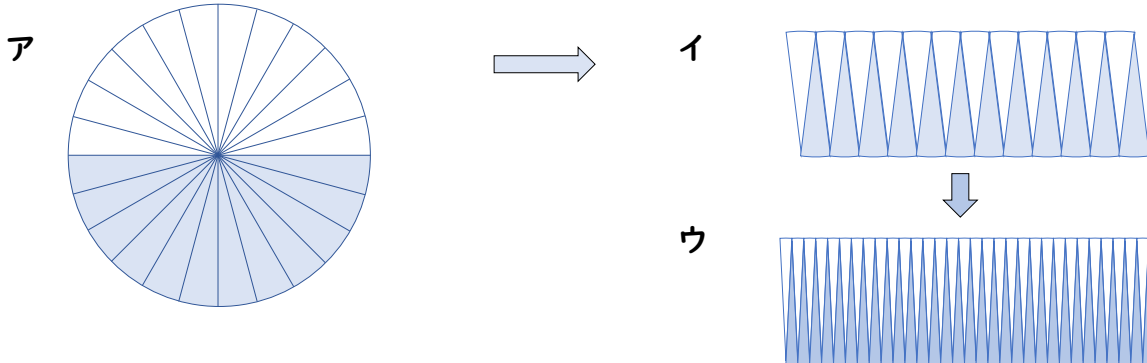




アの円を同じ大きさのおうぎの形に切ってイのような形に並べ、円の面積の求め方を考えます。
次の（ ）の中にあてはまることばや式をかきなさい。



- ① アの円をおうぎの形に細かく等分して並べたイの形は、細かく等分すればするほどウのように()になると考えられます。
- ② ウの縦の長さは、アの円の()と同じです。
- ③ ウの横の長さは、アの円の()の半分と同じです。
- ④ ウの横の長さは、 $\text{直径} \times \text{円周率} \div 2$ で、これは、() $\times$ 円周率になります。
- ⑤ 円の面積は、ウの縦 $\times$ 横、すなわち()の式で求められます。
- ⑥ 円周率はふつう () を使います。



次のような円の面積を求めましょう。

- ① 直径 10 cm の円

式

答え

- ② 半径 2 cm の円

式

答え

- ③ 半径 3 cm の円

式

答え

- ④ 直径 8 cm の円

式

答え

